

日米投信概況

日本はNISAが寄与して1月既に+1兆6500億円(1月効果)！
米国はビットコイン等やバンクローン&CLO ETFに純流入!!

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部 松尾健治 (kenji-matsuo@am.mufg.jp) 窪田真美 (mamii-kubota@am.mufg.jp)

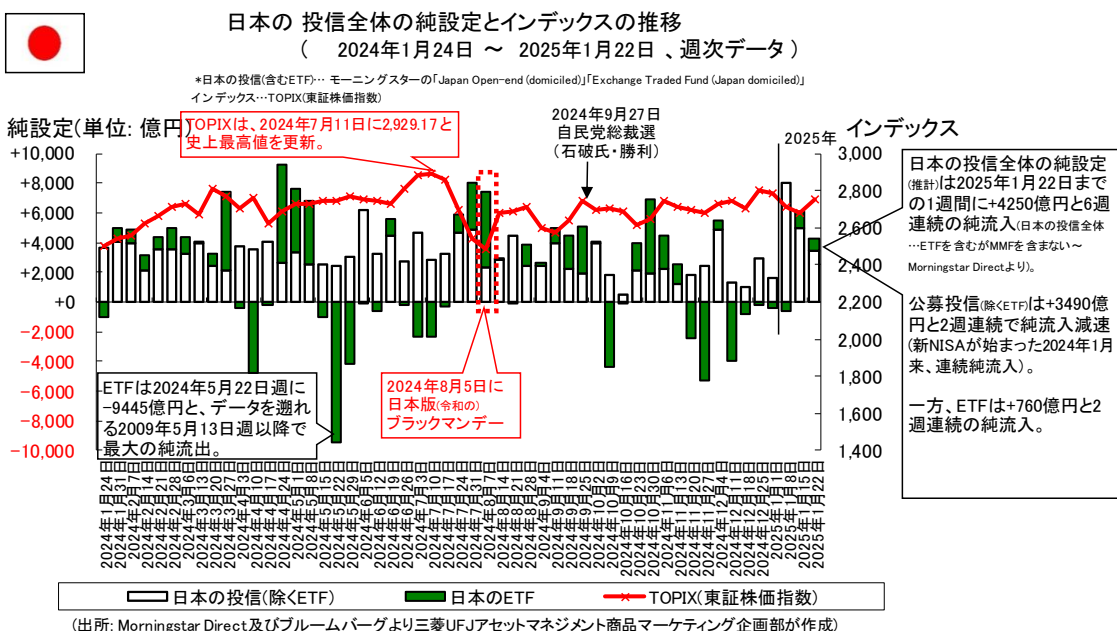
- 日本は公募投信(除くETF)が1月既に+1兆6500億円(1月効果)！p.1
- 米国はデジタル資産(ビットコイン等)やバンクローン&CLO ETFに純流入!!p.3

●日本は公募投信(除くETF)が1月既に+1兆6500億円(1月効果)！

日本の投信全体の純設定/資金フロー(推計)は2025年1月22日(水)までの1週間に+4250億円と6週連続の純流入

(日本の投信全体…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。 **公募投信(除くETF)は+3490億円と週次ベース過去最大となった1月8日週+8043億円から減速も(1月15日週は+4946億円)、1月は既に3週間で1兆6500億円の純流入**(月初に多い積立買付に加

え、新NISA2年目が始まり、新しい非課税投資枠での買付が行われた為と思われる～2024年1月29日付投信調査コラムNo.395「日本の1月効果と英国の4月効果の際にNISAとISA!?～ファンドマネジャーやストラテジストが調査・分析をする世界のファン
ドフローと規制・制度～」～ https://www.am.mufg.jp/report/investigate/column_340129.pdf、2015年3月2日付投信調査コラムNo.92「英国の4月効果、米国の1月効果、日本は何月効果?～英国のISAは今まさに「冬」で、来たるべき「春」、「ISAシーズン」へ向け準備をして
いる所～」～ https://www.am.mufg.jp/report/investigate/_jpf/Files/afidfile/2015_06/13/15082.pdf。 **ETFも+760億円と2週連続の純流入。**



公募投信(除くETF)の最新1月22日週の純設定額+3490億円について分類別に見る。 **純流入1～5位は米国株、グローバル株、グローバル株-日本を除く、グローバル・特定テーマ/セクター株、日本株大型グロース。** 米国株は2025年に入っても純流入が継続(昨年2024年は年間+6.5兆円)。



日本の投信の分類別週間純流入(純流入の大きい順)

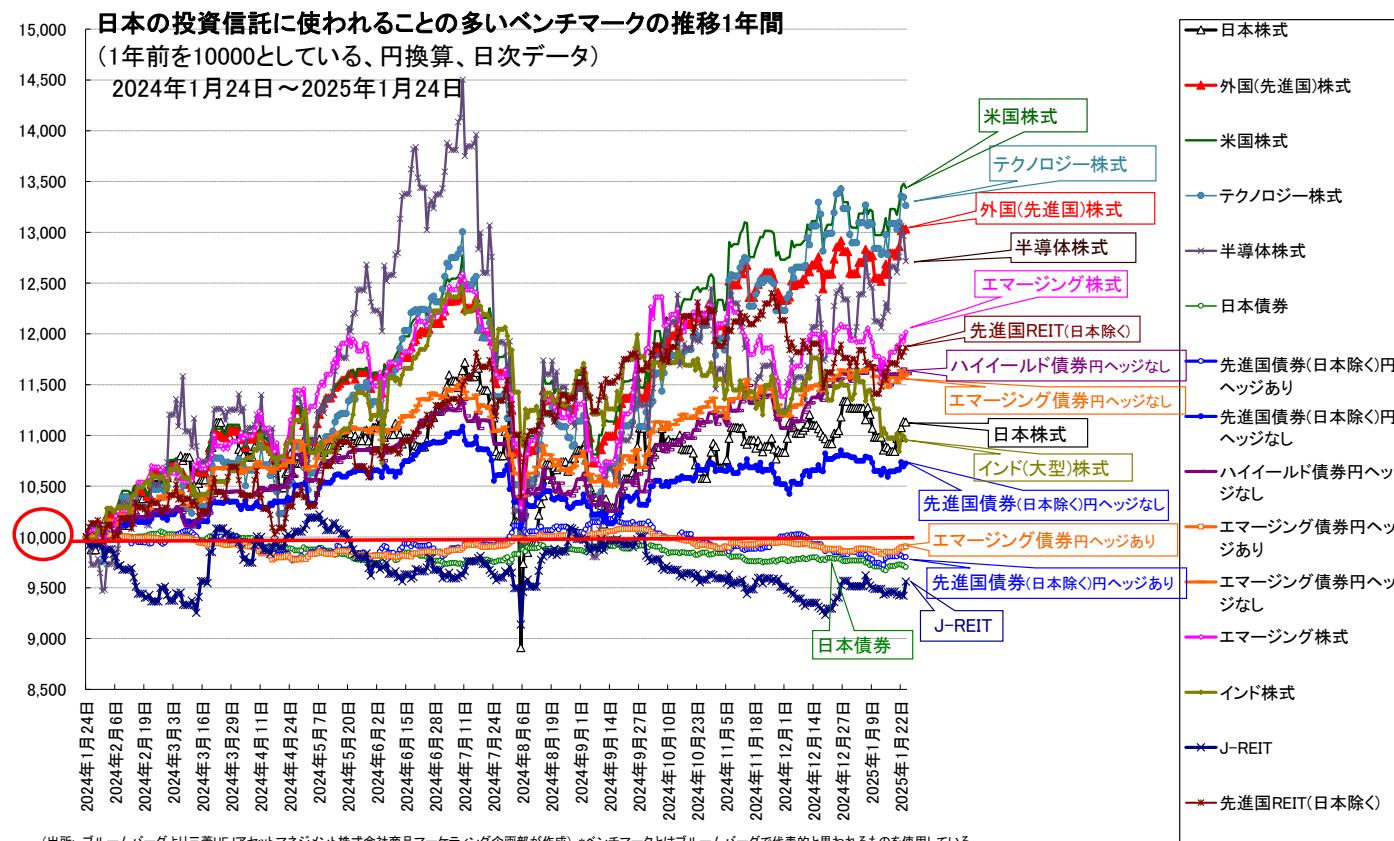
2025-01-22現在

***ETF・MMFを含まない。 週次推計の為、月次のものとは異なる。**

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万円)	純流入 前週 (百万円)	純流入 4週計 (百万円)	純資産 (百万円)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
1	US Equity	+173,141	+232,125	+899,012	24,787,793	米国株
2	World Equity	+94,386	+99,292	+492,443	19,703,555	グローバル株
3	World ex-Japan Equity	+25,456	+29,863	+126,327	12,909,546	グローバル株-日本を除く
4	World Specialty Equity	+20,275	+19,753	+119,101	13,698,232	グローバル・特定テーマ/セクター株
5	Japan Large-Cap Growth Equity	+20,056	+81,179	+43,653	6,332,831	日本株大型グロース
6	Commodity	+11,539	+6,877	+30,797	1,134,049	商品
7	Moderately Aggressive Allocation	+10,750	+7,632	+37,062	4,706,093	モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション
8	World ex-Japan Bond	+8,768	+542	+13,404	3,204,016	グローバル債-日本を除く
9	Moderate Allocation	+5,752	+8,761	+27,092	3,624,000	モデレート・アセットアロケーション
10	Tactical Allocation	+4,648	-423	+7,254	1,209,248	タクティカル・アロケーション
76	World Hybrid Security - JPY hedged	-2,232	-794	-3,883	304,886	グローバル・ハイブリッド証券-円ヘッジ
77	Japan Small/Mid-Cap Growth Equity	-2,544	-3,181	-10,767	1,761,011	日本中小型グロース株
78	Other Allocation	-2,561	-1,747	+576	664,254	その他アロケーション
79	Japan REIT	-2,930	-349	-5,672	1,979,581	日本REIT
80	India Equity	-3,571	-2,294	+4,841	2,849,042	インド株
81	Risk Control Allocation	-3,627	+663	-5,363	1,176,099	リスク・コントロール・アセットアロケーション
82	Other Equity	-3,952	-1,964	-8,267	1,355,988	その他株
83	Trading - Leveraged/Inverse	-3,961	+22,210	-8,647	696,240	トレーディング-レバレッジド/インバース
84	Japan Small/Mid-Cap Value Equity	-3,978	-2,424	-9,957	1,184,269	日本中小型バリュー株
85	Conservative Allocation	-4,716	-1,711	-2,320	2,188,441	コンサバティブ・アセットアロケーション
全85分類の合計		+349,005	+494,641	+1,806,868	141,723,384	
	指数名	リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
	TOPIX (東証株価指数)	+1.72	-2.86	+0.25		
	S&P500	+2.30	+0.57	+0.85		
	MSCI ワールド	+2.51	+0.35	+1.67		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。

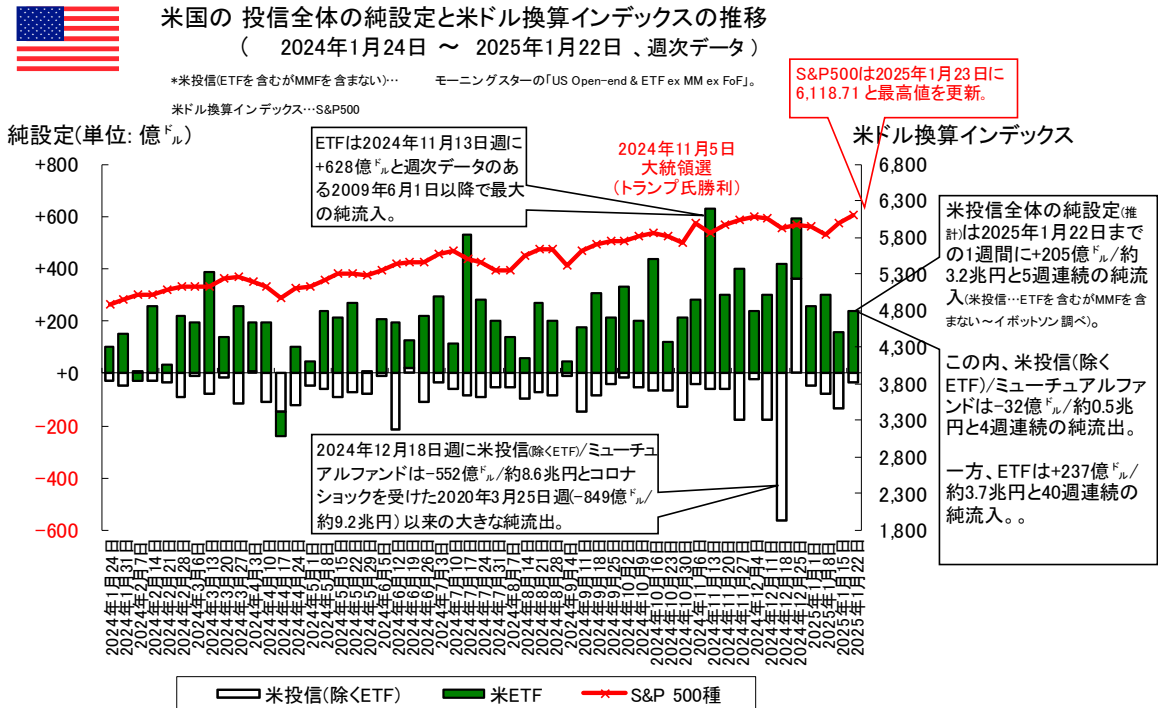


(出所: ブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント株式会社商品マーケティング企画部が作成) *ベンチマークとはブルームバーグで代表的と思われるものを使用している。

●米国はデジタル資産(ビットコイン等)やバンクローン&CLO ETFに純流入!!

米投信全体の純設定/資金フロー(推計)は2025年1月22日までの1週間に+205億^{ドル}/約3.2兆円と5週連続の純流入
 (米投信…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。 **米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは-32億^{ドル}/約0.5兆円と4週連続の純流出**。 一方、**ETFは+237億^{ドル}/約3.7兆円と40週連続の純流入**(継続的なミューチュアルファンドの純流出とETFの純流入にはミューチュアルフ

ンドからETFへのコンバージョン/転換も寄与…2023年11月27日付日本版ISAの道 その391「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増!」～ https://www.am.ufj.co.jp/report/imesgate/colomn_311137.pdf)。 **昨年2024年、米国のETFは純流入が1兆^{ドル}/約158兆円を超え、過去最大となった**(2025年1月27日付投信調査コラムNo.418「日本のETFは米国(やインド等)のETFに投資するFOF(s)で拡大?～米欧でETF純流入が過去最大となる中、日銀からの純流入が無い日本のETFは金銭信託型ETF～」～ <https://www.am.ufj.co.jp/report/Investigate/>)



(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)
 *米モーニングスターが発表する週次の純設定額(推計)は、算出時点で入手できる投信による推計であり、随時更新される(本レポートは作成時点の最新値を使用)。

2025年1月22日週の投信全体(含むETF、除くMMF)純設定額を分類別に見る。 **米国株は+31億^{ドル}と2週ぶりの純流入**、**セクター株は+25億^{ドル}と2か月ぶり大きな純流入**、**外国株は+4億^{ドル}と3週ぶり純流入**、**債券は+112億^{ドル}と4週連続純流入**、**オルタナティブは+42億^{ドル}と2か月ぶりの大きな純流入**。 一方、**コモディティは-5億^{ドル}と3週ぶり純流出**。

投資対象をより細かく分類別に見る。 **純流入1～3位は、米国大型ブレンド株(S&P500連動など)、デジタル資産(ビットコイン等)、米国超短期債(ウルトラショート・ボンド)。**



米投信の分類別週間純流入(純流入の大きい順)

2025-01-22現在

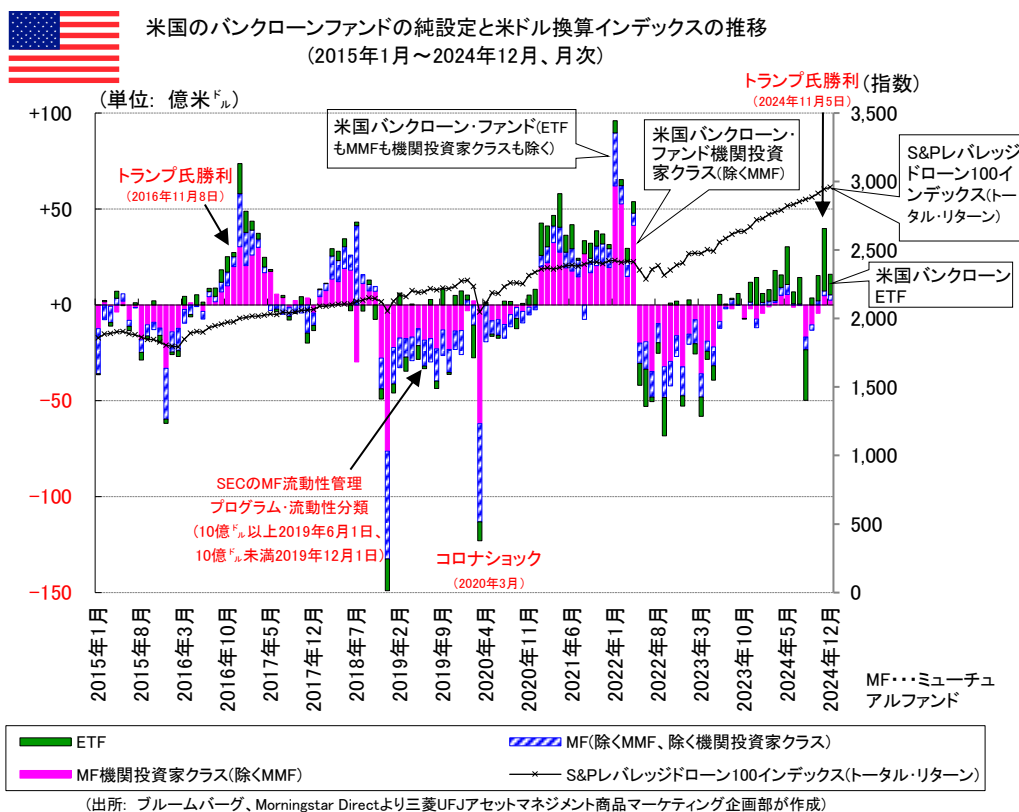
***ETFを含むがMMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。**

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
1	Large Blend	+5,993	+3,363	+27,697	4,946,188	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)
2	Digital Assets	+3,738	-1,448	+3,856	148,262	デジタル資産(ビットコイン等)
3	Ultrashort Bond	+2,491	+3,576	+12,593	361,205	米国超短期債
4	Foreign Large Value	+1,855	+80	+1,874	172,688	外国株大型バリュー株
5	Muni National Interim	+1,516	-440	+1,431	241,397	米国全米地方債
6	High Yield Bond	+1,390	-129	+1,129	297,018	米国ハイイールド債
7	Derivative Income	+1,110	+925	+4,321	117,246	デリバティブ・インカム
8	Financial	+1,046	+755	+1,356	102,353	金融株
9	Bank Loan	+965	+727	+2,891	80,223	米国バンクローン
10	Technology	+902	-193	+2,007	398,872	米国テクノロジー株
15	Industrials	+617	+127	-12	56,987	農業・インフラ・輸送等
18	Utilities	+382	+167	+113	43,968	公益株
109	India Equity	-174	-172	-789	17,551	インド株
114	Intermediate Core-Plus Bond	-242	-544	-318	610,181	米国中長期コアプラス債
115	Defined Outcome	-408	+1,015	+1,383	50,879	ディファインド・アウトカム
116	Equity Energy	-413	-5	-1,359	58,552	エネルギー株(非MLP)
117	Mid-Cap Value	-418	-482	-646	289,888	米国中型バリュー株
118	Mid-Cap Growth	-592	-808	-2,629	347,496	米国中型グロース株
119	Commodities Focused	-601	+401	-476	152,991	商品・フォーカス
120	Health	-665	-375	-1,060	125,062	ヘルスケア株
121	Foreign Large Blend	-727	+943	+3,554	1,045,468	外国大型ブレンド株
122	Trading--Leveraged Equity	-1,580	-972	-3,405	120,176	トレーディングレバレッジ株式(ブル型)
123	Large Value	-2,229	-1,360	-1,156	1,502,757	米国大型バリュー株
	全123分類の合計	+20,544	+2,732	+65,625	21,339,646	
	指数名	リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
	TOPIX (東証株価指数)	+1.72	-2.86	+0.25		
	S&P500	+2.30	+0.57	+0.85		
	MSCI ワールド	+2.51	+0.35	+1.67		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。

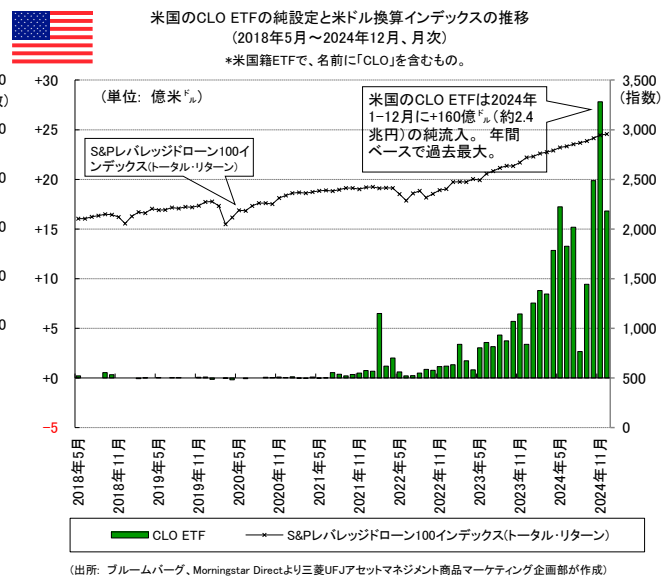
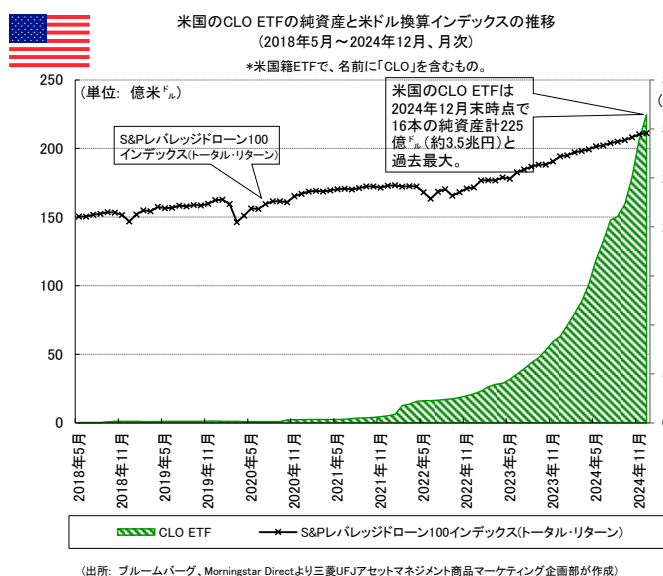
2025年1月22日週の投信全体(含むETF、除くMMF)純設定額分類別9位が**米国バンクローン**で**+9.7億ドル/約1510億円と4週連続純流入**。2025年は1月22日までのところ**+27億ドル超の純流入**と、前月2024年12月の**+16億ドル**や2024年**下半期7-12月の+21億ドルを上回り増加している**。バンクローンETFやCLO(Collateralized Loan Obligation、債務担保証券またはローン担保証券)ETFが流入を牽引する。



米国のCLO ETFの純設定額も増えており、2024年1-12月に+160億ドル/約2.4兆円と年間で過去最大の純流入。

米国バンクローンETFとCLO ETFを合わせると、2024年1-12月に+250億ドル/約3.9兆円の純流入。米国のCLO ETFは2024年12月末時点で16本の純資産計225億ドル/約3.5兆円と過去最大。さらなる金利上昇や、2025年1月20日のトランプ大統領就任で期待されるファンド流動性規制緩和は、米国バンクローンやCLOの好材料となる(2024年12月23日付投信調査レポートNo.430「インデックスファンドに勝るバンクローン&CLOアクティブファンド～変動金利の強みと米国ファンド流動性規制の緩和～」https://www.um-am.co.jp/report/investize/report_241223.pdf)

月23日付投信調査レポートNo.430「インデックスファンドに勝るバンクローン&CLOアクティブファンド～変動金利の強みと米国ファンド流動性規制の緩和～」https://www.um-am.co.jp/report/investize/report_241223.pdf



2024年12月末現在



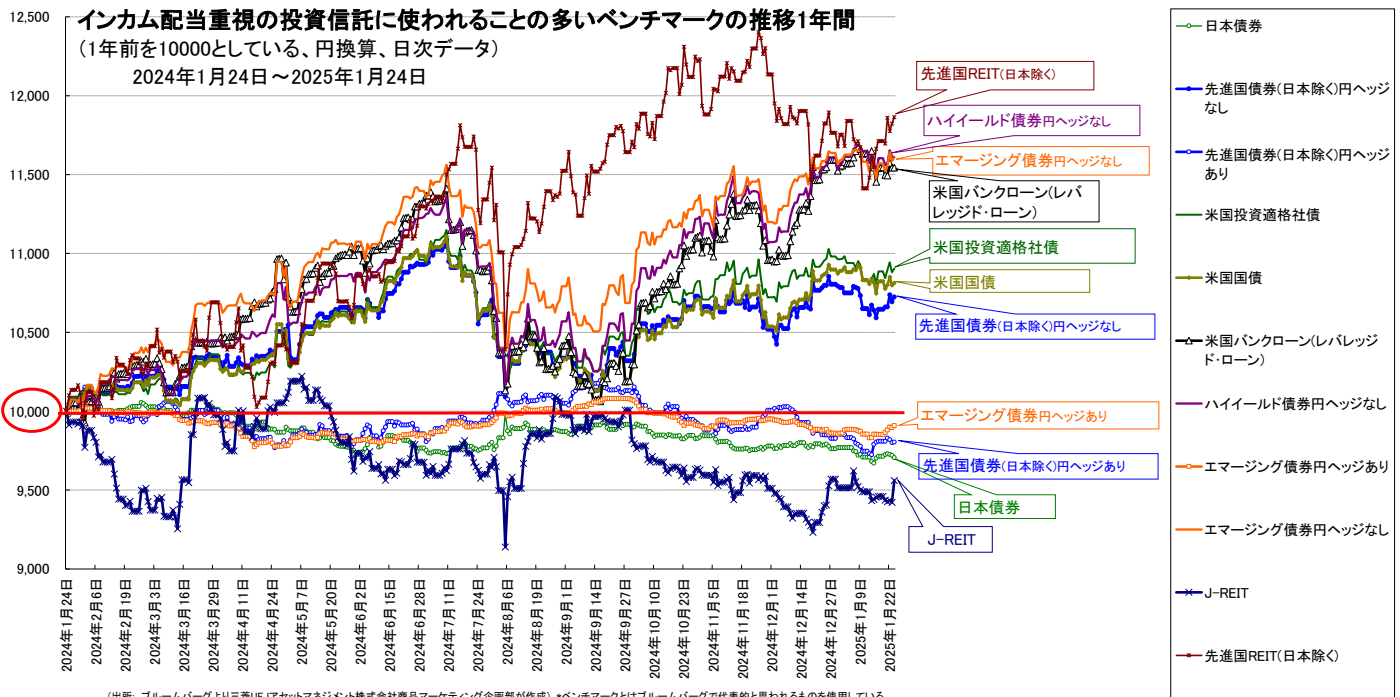
米国籍CLO(Collateralized Loan Obligation、債務担保証券またはローン担保証券)ETFの純資産大きい順。CLO ETFは名前にCLOを含むものとしている。

ETF名	コード (日本籍は投信協会/米国籍はティッカー/それ以外はISIN)	投信会社名	設定日	純資産 (クラス) (百万円) 最新月末	純資産 (クラス) (百万ドル) 最新月末	Index Fund	直近配当利回り(%) *直近の分配金額を年換算、現在の基準価額で割った値。直近月末	総経費率/エクステンション オ(%)、*1 (参照)
1 Janus Henderson AAA CLO ETF	JAAA	Janus Henderson	2020/10/16	2,606,635	16,586	No	6.36	0.22
2 PGIM AAA CLO ETF	PAAA	PGIM Investments	2023/7/19	266,438	1,695	No	5.88	0.19
3 Janus Henderson B-BBB CLO ETF	JBBB	Janus Henderson	2022/1/11	224,741	1,430	No	7.65	0.48
4 VanEck CLO ETF	CLOI	VanEck	2022/6/21	124,391	791	No	6.71	0.40
5 iShares AAA CLO Active ETF	CLOA	iShares	2023/1/10	102,411	652	No	5.98	0.20
6 Panagram Bbb-B Clo ETF	CLOZ	Eldridge Structured Credit Advisers, LLC	2023/1/23	88,961	566	No	8.99	0.50
7 Invesco Aaa Clo Floating Rate Note ETF	ICLO	Invesco	2022/12/9	42,261	269	No	6.46	0.14
8 Panagram AAA CLO ETF	CLOX	Eldridge Structured Credit Advisers, LLC	2023/7/18	15,980	102	No	6.18	0.20
9 Hartford AAA CLO ETF	HSRT	Hartford Mutual Funds	2018/5/30	14,365	91	No	6.38	0.26
10 Nuveen AA-BBB CLO ETF	NCLO	Nuveen	2024/12/10	11,009	70	No	0.00	0.00
11 VanEck AA-BB CLO ETF	CLOB	VanEck	2024/9/24	9,543	61	No	0.00	0.00
12 TCW AAA CLO ETF	ACLO	TCW ETF	2024/11/15	8,341	53	No	0.00	0.00
13 AlternativeAccessFirstPriority CLO BdETF	AAA	Alternative Access Funds	2020/9/8	4,319	27	No	6.19	0.25
14 BondBloxx Private Credit CLO ETF	PCMM	BondBloxx Investment Management	2024/12/2	3,966	25	No	0.00	0.00
15 Palmer Square CLO Senior Debt ETF	PSQA	Palmer Square	2024/9/11	3,874	25	Yes	0.00	0.00
16 Virtus Seix AAA Private Credit CLO ETF	PCLO	Virtus	2024/12/2	2,557	16	No	0.00	0.00
16本 * 純資産は合計、他は平均(ブランク)			2023/2/5	3,529,791	22,460		6.68	0.28
最新もしくは最大(ブランク除く)			2024/12/10	266,438	1,695		8.99	0.50
最古もしくは最小(ブランク除く)			2018/5/30	2,557	16		5.88	0.14

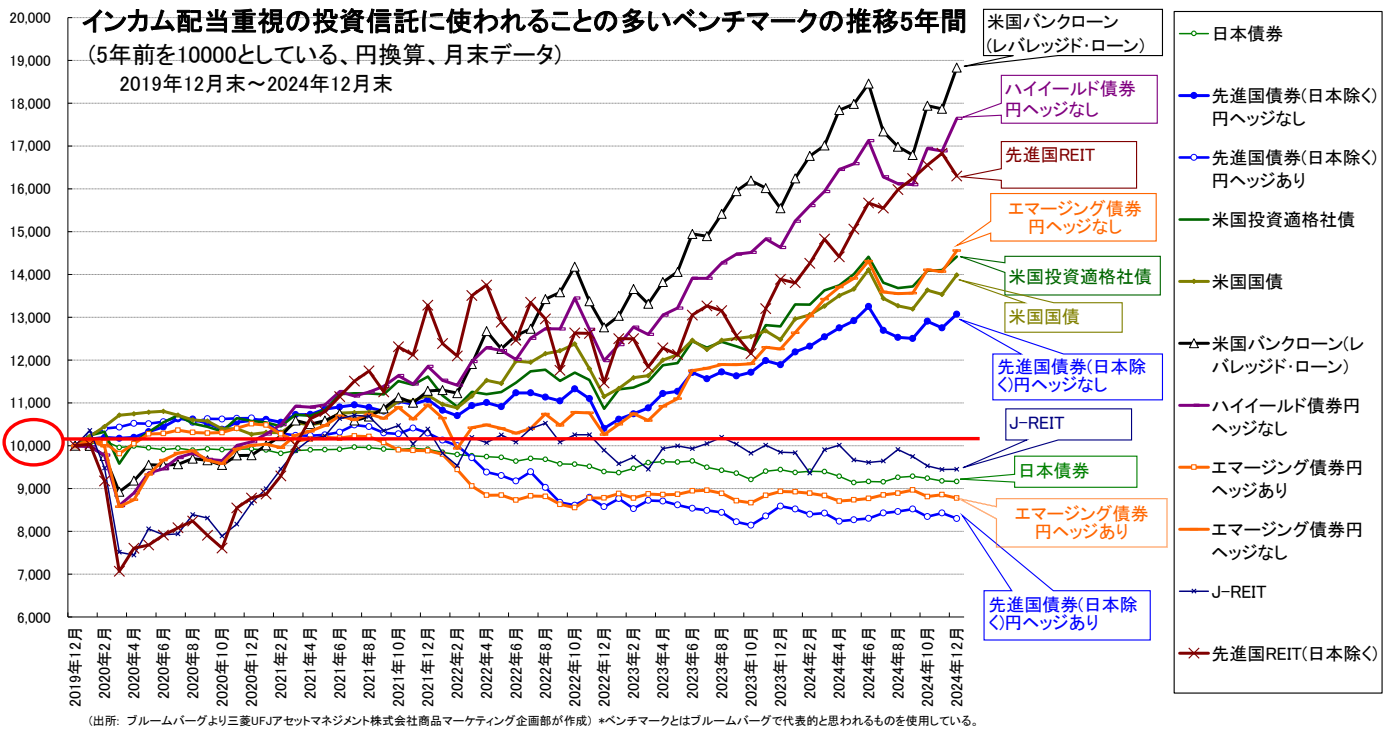
(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

※1: エクステンション…Expense RatioもしくはTotal annual operating expensesの事。日本の信託報酬・投信会社分に相当するManagement Fees(成功報酬調整後)とTransfer agent Fees and expense、日本の信託報酬・販売会社分(代行手数料)に相当するDistribution (12b-1)Fees、日本の信託報酬・受託会社分に相当するCustodian Fees、日本の監査報酬に相当するAudit Fees、そして、投資対象ファンドの信託報酬等であるAcquired Fund Fees and Expenses/AFFE等の総額を、目録見書のProspectusもしくは運用報告書の(Semi-)Annual Reportから抜き出し、平均純資産で割って年率としたものである。尚、日本の販売手数料もしくは解約手数料に相当するInitial Sales Fee (Front-end Load) もしくはDeferred Sales Fee (Back-end Load)は含まず、日本の売買委託手数料に相当するTrading Costs(Brokerage Commissions、Market Impact、Spread Cost)も含まない。値引き(Fees Waiver and/or Expense Reimbursement)前をGross Expense Ratioと言ひ、値引き後をNet Expense Ratioと言ふ。ちなみに、欧州ではTotal Expense Ratio/TERと言うものがあるが、2012年6月からはOngoing Charges/OCSと言うものに移行している(*TERもOCSも代行手数料やDistribution Feesに相当するTrail Commissionを含まず、TERとOCSの大きな違いはTERは成功報酬を含みOCSは成功報酬を含まない事)。

インカム配当重視の投資信託に使われる事の多いベンチマークのパフォーマンスを見ると、2025年1月24日までの1年間に米国バンクローンは下記11のベンチマーク中、4番目に良かった。



インカム配当重視の投資信託に使われることの多いベンチマークの2024年末までの5年間は、米国バンクローンは最も良好なパフォーマンスとなっている。



以上

三菱UFJアセットマネジメント【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「 <https://www.am.mufg.jp/report/investigate/> 」。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部

松尾 健治(kenji-matsuo@am.mufg.jp)、

窪田 真美(mami1-kubota@am.mufg.jp)。

本資料に関してご留意頂きたい事項

■本資料はNISA(少額投資非課税制度)など内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。

■本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

本資料中で使用している指数について

■TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

■MSCI ワールド インデックスに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会